

AKITA

由利本荘エリア

にかほエリア



ジオパーク
全域マップ

由利本荘エリア

飛島エリア

にかほエリア

遊佐エリア

鳥海山
2,236m

酒田エリア

日本海と大地がつくる 水と命の循環

鳥海山・飛島ジオパークには

水と命の循環を

身近に感じることができる

貴重な大地と自然、文化が広がっています。

鳥海山・飛島ジオパーク

Mt.Chokai & Tobishima island Geopark

【推進協議会事務局】

〒018-0121 秋田県にかほ市象潟町字大塩越36-1

Tel.0184-62-9777 Fax.0184-62-9788

E-mail.info@chokaitobishima.com



ジオガイド
申し込み

鳥海山・飛島ジオパーク ガイドの会

詳しくはWEBをご覧ください

Tel.080-2189-1081 Fax.0184-62-9788 E-mail.guide@chokaitobishima.com

2019年4月 発行

秋田

由利本荘エリア

にかほエリア

A

日本がまだ海の底だった時代の名残り、鳥海山の岩なだれがつくった地形、山・川・海に刻まれた水の力、かつての景観を想像しながら、大地の歴史をめぐる旅を。

B

ジオパークの見どころには、科学的価値が証明された地質・地形遺産である「ジオサイト」のほか、「自然サイト」「文化サイト」があり、ジオサイトを観察するのに最適な場所を「ビューポイント」としています。



ジオサイト
GeoSite



自然サイト
Natural Site



文化サイト
Cultural Site



ビューポイント
View Point

C

D

0 5 km

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を参照した。(承認番号 平30特発第72-GISMAP41584号)



象潟郷土資料館



九十九島(象潟)のなりたちや歴史・文化を分かりやすく知ることができる資料館。埋もれ木も展示しています。

☎0184-43-2005

秋田県にかほ市象潟町字狐森31-1

開館時間 9:00～17:00



にかほ市観光
拠点センター 「にかほっと」



にかほ市のおいしい産物が並ぶ店や無料の足湯などが楽しめる複合施設。夏には、鳥海山と日本海の恵み、近海でとれた「天然岩ガキ」を目当てに多くの人が訪れます。

☎0184-43-6608 (にかほ市観光協会)

秋田県にかほ市象潟町字大塩越36-1

開館時間 9:00～21:00



鳥海高原花立クリーンハイツ



高原育ちのジャージー牛から搾った濃厚なジャージーミルク。ヨーグルトやソフトクリームはコクがあり、すっきりとした甘みが人気です。

☎0184-56-2408

秋田県由利本荘市矢島町城内字立96

4月～11月上旬まで営業(冬期休業)

秋田

由利本荘エリア

にかほエリア

積み重なっては崩れる鳥海山
美観を生んだ大地の歴史

Touch!

ふれる・楽しむ・好きになる



鳥海山・飛島ジオパーク

Mt.Chokai & Tobishima island Geopark

由利本荘 エリア

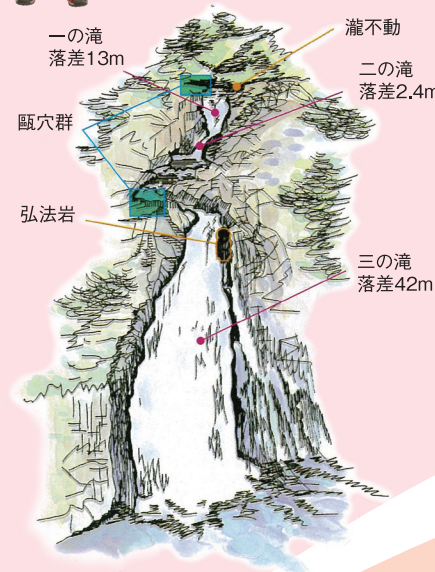
1

MAP D-2

法体の滝とポットホール(甌穴)



約10万年前に鳥海山の噴火で流れ出た大量の溶岩と、鳥海山に由来する豊かな水がつくり出した名瀑です。落差約57mを末広がりになり水が落ちる姿は大迫力です。滝の上流部では「ポットホール」と呼ばれる不思議な穴がたくさん見られます。



華ノ木禅

子吉川の清流と大きな柱状節理(溶岩の割れ目)が美しい

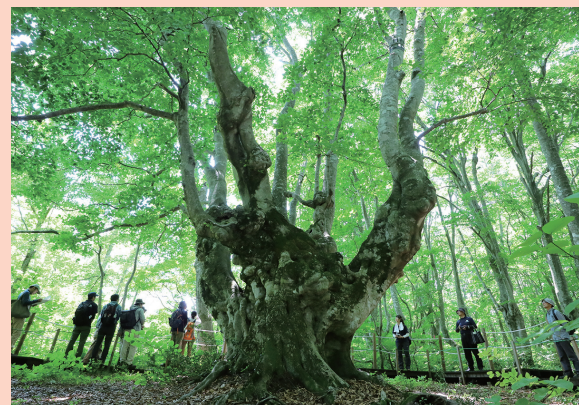
8

MAP D-2

中島台・獅子ヶ鼻湿原



鳥海山の火砕流がつくったなだらかな地形に緑豊かなブナの森が広がっています。不思議なかたちをした「あがりこ大王」は、幹周り7メートルを超える森の王者です。獅子ヶ鼻湿原は溶岩流の末端部から流れ出る大量の湧水が満たした湿原で、「鳥海マリモ」と呼ばれるコケ類が生息しています。



▲あがりこ大王



▲出つぼ

2

MAP C-2

桑ノ木台湿原



ふるい時代の鳥海山の岩なだれが堆積してつくった標約700mに位置する湿原です。整備された木道を歩きながら約8haの湿原の自然を楽しむことができます。6月頃には、ワタスゲやレンゲツツジの美しい群生が見られます。



Q

石に穴が空く「ポットホール」はどうしてできるの？



ポットホール(甌穴)

ポットホールは一ノ滝・二ノ滝付近で多く見られます。

A

ものすごく荒れ狂った嵐のときに、川は大きな石ころや砂や泥などを運びます。そのとき、岩盤がむき出しの状態の川の底に、割れ目や小さな穴があると渦状の流れとともに河床の下方に円筒状の穴が開きます。これをポットホールといいます。



7

MAP C-1

上郷の温水路群



昭和2年に鳥海山由来の冷たい水を温めて稲作に利用するために作られた「温水路」です。水路の幅を広く水深を浅くし、多くの段差をつくって水を温める工夫が見られます。土木学会が推奨する「土木遺産」にもなっています。



▼炭焼き窯



Q

鳥海マリモの正体は!?



A

この湿原の湧き水は火山ガスの成分が水に溶け込み強い酸性になっています。その水に適応した珍しいコケ類です。



4

MAP B-3

石沢大滝と屏風岩



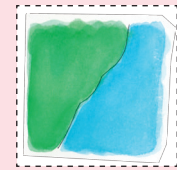
「石沢大滝と屏風岩」では大滝とつながっていたときの地層が見られるんです!

日本海と日本列島の歴史



ユーラシア大陸の時代

約3,000万年前



大陸の一部だった

日本海ができる時代

約1,500万年前



日本列島になる部分が大陸から離れた

私たちのいる時代

約60万年前～現在



現在の形になった

3,000万年前というと日本列島がまだ大陸の一部だった時代で、陸上での火山噴火によって出てきた溶岩と考えられています。

石沢大滝の周辺は、日本列島が大陸の縁に位置していた約3,000万年前の地質が見られる場所です。石沢川にそそぐ清流に沿って美しい渓谷が続きます。高く切り立った崖や、岩の壁がせめぎあう屏風岩などは絶景です。

由利原高原



鳥海山の巨大な岩なだれ堆積地が長い時間をかけてなだらかな地形が広がる高原になりました。広大な採草放牧地を活かして秋田由利牛やジャージー牛などが飼育されています。

MAP C-2



▲ジャージー牛

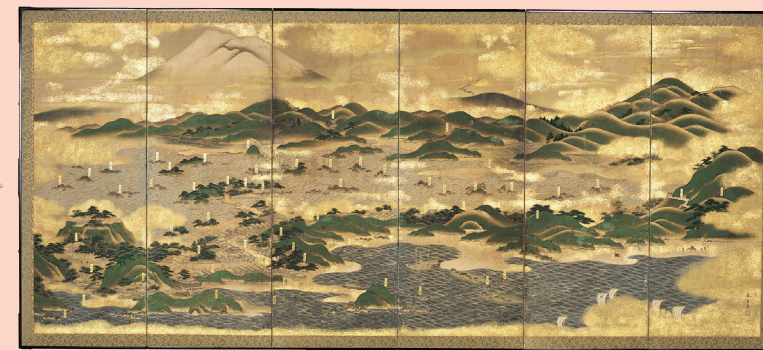
5

MAP C-1

九十九島



今からおよそ2,500年前の紀元前466年、鳥海山は大きく崩れ、山頂から大量の土砂が流れて海岸部に達しました。その土砂は日本海を埋め立て、多くの「流れ山」ができ、島々が点在する風景ができました。「埋もれ木」はこのときの山体崩壊で土砂の中に埋もれたものです。



牧野永昌作「象潟図屏風」：象潟地震(1804年)により陸地化する以前の象潟の風景が描かれている
にかほ市象潟郷土資料館蔵／秋田県指定有形文化財

6

MAP D-1

元滝伏流水



約10万年前に流れ出た溶岩流の末端部から滝のように湧き水が絶え間なく流れ出しています。苔むした岩肌の上を幾筋もの水が流れ落ち、一帯は薄霧に包まれた神秘的な景観が広がります。



鳥海山の岩なだれがつくった大地



埋もれ木

この大きな「埋もれ木」は、象潟郷土資料館に行くと実物を見ることができますよ。



▲ネムノキの花

